

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 25年度

市町村名	蕨市					
提案事業名	にぎわいと活力あるわらび創出事業					
事業期間	24年度		～	24年度		
成果指標	(成果を検証する指標) ①商店街に週1回以上買い物に行く人の割合 ②クリーンわらび市民運動参加者数 ③代表的な祭りの来客数 ④歴史民俗資料館の入館者数					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	②, ④ : A ①, ③ : C
	従前値 <small>(過去5ヶ年平均: 19年～23年)</small>	①36.4%	目標値 <small>(25年8月時点)</small>	①38.4%	実績値 <small>(25年8月時点)</small>	①31.0%
	従前値 <small>(23年度)</small>	②8,193人 ④32,698人	目標値 <small>(24年度)</small>	②8,500人 ④33,000人	実績値 <small>(24年度)</small>	②8,615人 ④34,276人
	従前値 <small>(22年度)</small>	③490,000人	目標値 <small>(24年度)</small>	③495,000人	実績値 <small>(24年度)</small>	③450,000人
	(施設建設等の場合の実績)					
年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)		

【改善計画(報告)】

①成果指標の再設定

事業・方策名	地域の特性を活かしたにぎわいの創出					
成果指標の再設定	(成果を検証する指標) 中心市街地における空き店舗の数					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A
	現状値 <small>25年3月</small>	33	目標値 <small>27年3月</small>	31	実績値 <small>(27年12月時点)</small>	31
	(施設建設等の場合の実績)					
年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)		

②再設定指標を達成するための事業・方策内容

事業・方策内容	
①	「わらびりんご育成事業」、「コミュニティビジネス支援事業」について、広報蕨、市ホームページなどを用いた更なる情報提供・周知を行い、まちのにぎわいと活力の創出を図っていく。
②	25年9月から、商店街活性化事業費補助金を以下のとおり拡充している。 ・街路灯を全てLED化した場合は、電気料の補助率を2分の1から3分の2に引き上げる。 ・電球交換費用についてもLED電球の交換の場合は補助の対象とする。 これにより、23年度末に1件であったLED化している商店街が、25年度末には計8件になる見込みであり、26年度も更なる増加を目指すことで、安全・安心な商店街の形成により、まちのにぎわいと活力の創出を図っていく。
③	空き店舗有効活用事業補助金について、補助金の申請・交付の窓口となる一般社団法人蕨市にぎわいまちづくり連合会と連携して、より一層の周知に努め、積極的な活用を図る。

③事業・方策の実施効果

実施効果の概要	
①	「わらびりんご育成事業」については、平成26年度は市民を交えた商品化検討会の開催や、広報蕨や市ホームページなどを用いて情報提供・周知を行った。また、平成27年度にはわらびりんごサイダーの生産・販売を行った。本市の地域資源であるわらびりんごの魅力を市内外に発信することで、まちのにぎわいと活力の創出につながったと考えられる。 「コミュニティビジネス支援事業」については、創業の促進を図るため、平成26年度は座学だけでなく、一定期間の店舗経営をセットにした創業講座を企画。12名の受講者が創業に関するノウハウを学んだ。また、平成25年度に行われた講座の受講生のうち1名が実際に起業し、まちのにぎわいと活力の創出につながったと考えられる。
②	平成25年度末には8件であった街路灯をLED化している商店街・団体が平成26年度は4件増加し計12件となった。安全・安心な商店街の形成により、まちのにぎわいと活力の創出につながったと考えられる。
③	空き店舗有効活用事業補助金について、補助金の申請・交付の窓口となる一般社団法人蕨市にぎわいまちづくり連合会と連携して、より一層の周知に努めた。平成26年度においては2件の補助金交付を行い、空き店舗の解消につながった。

④特記事項

--

(記入上の注意)

【成果指標の達成状況】

・既の実施した成果検証報告書(別紙3)の内容を転記すること。

【改善計画(報告)】

・改善計画書として提出する際には、①成果指標の再設定(実績値、達成度等を除く)、②再設定指標を達成するための事業・方策等を記入すること。

・改善報告書として提出する際には、①成果指標の再設定(実績値、達成度等を記入)、③事業・方策等の事業効果、④特記事項を記入すること